

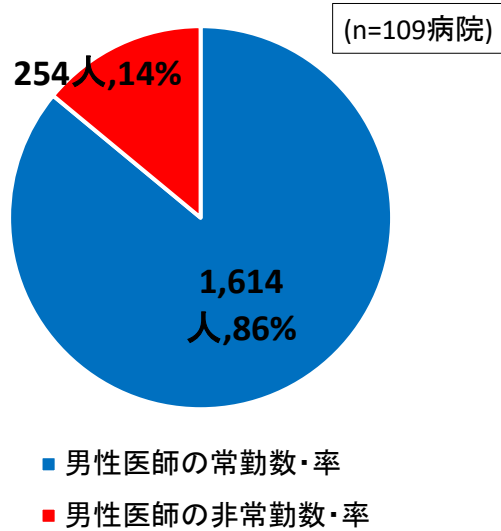
# 2026年度医師の両立支援状況調査報告

2026年6月調査  
 調査対象:141病院  
 回答:109病院  
 回答率:77.3%

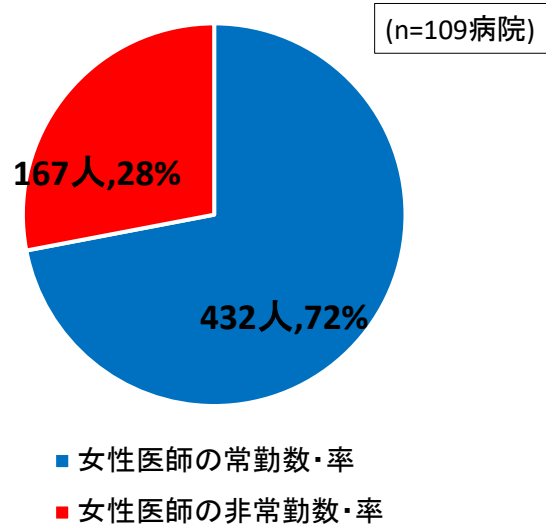
## 医療圏別 回答状況

所在分類	対象病院	回答病院	回答率
1. 長崎医療圏	49	41	83.7%
2. 佐世保・県北医療圏	34	26	76.5%
3. 県央医療圏	32	28	87.5%
4. 県南医療圏	15	6	40.0%
5. 五島医療圏	4	3	75.0%
6. 上五島医療圏	1	1	100.0%
7. 壱岐医療圏	4	2	50.0%
8. 対馬医療圏	2	2	100.0%
合計	141	109	77.3%

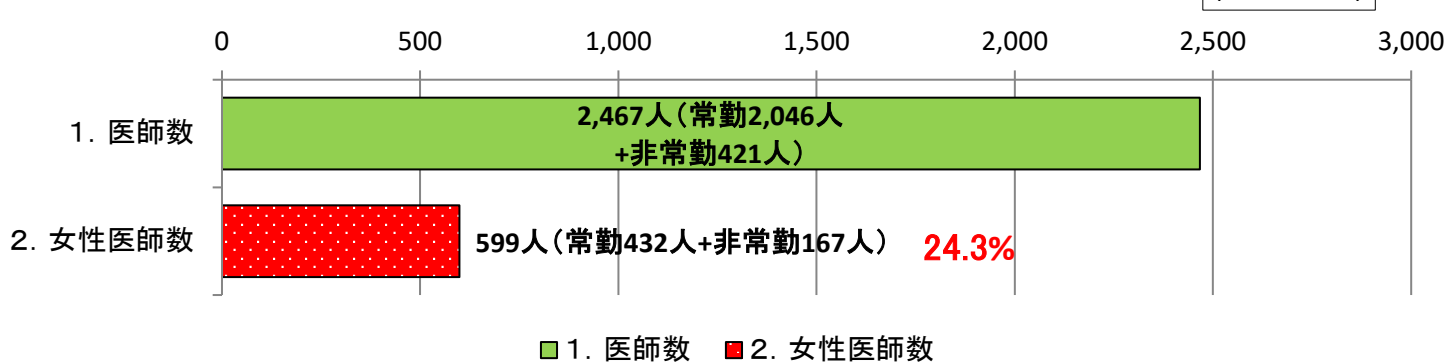
男性医師の勤務形態割合



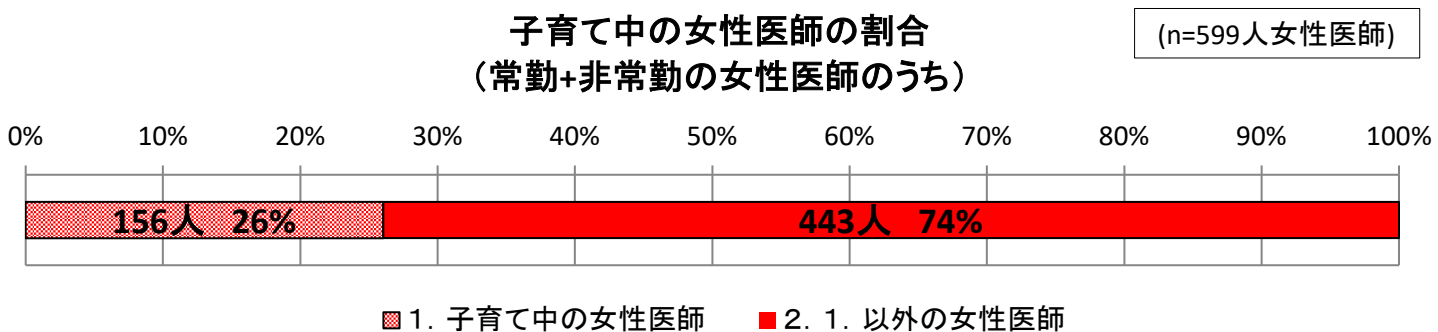
女性医師の勤務形態割合



医師数(常勤+非常勤)と女性医師数



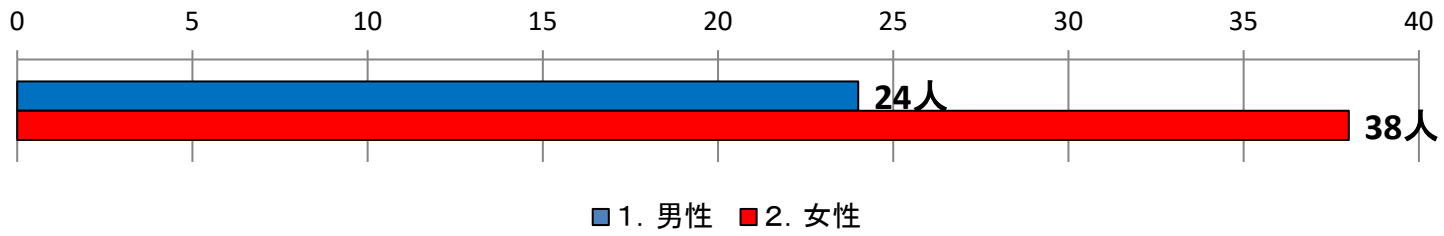
子育て中の女性医師の割合  
(常勤+非常勤の女性医師のうち)



# 2026年度医師の両立支援状況調査報告

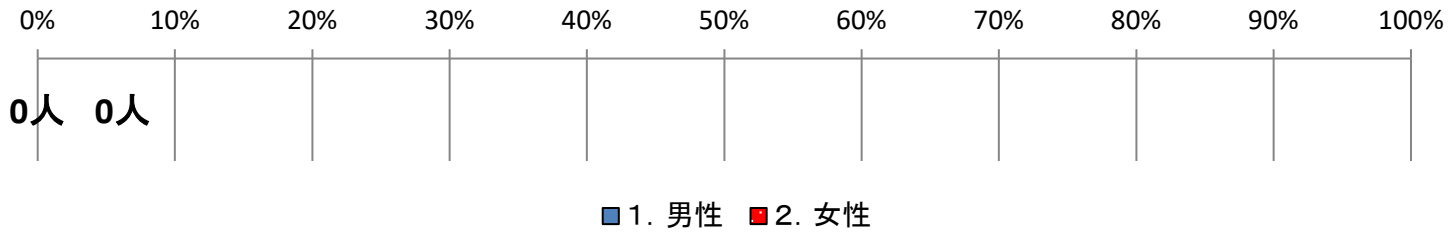
## 育児休業や出生時パパ育休を取得した医師数

(n=109病院)



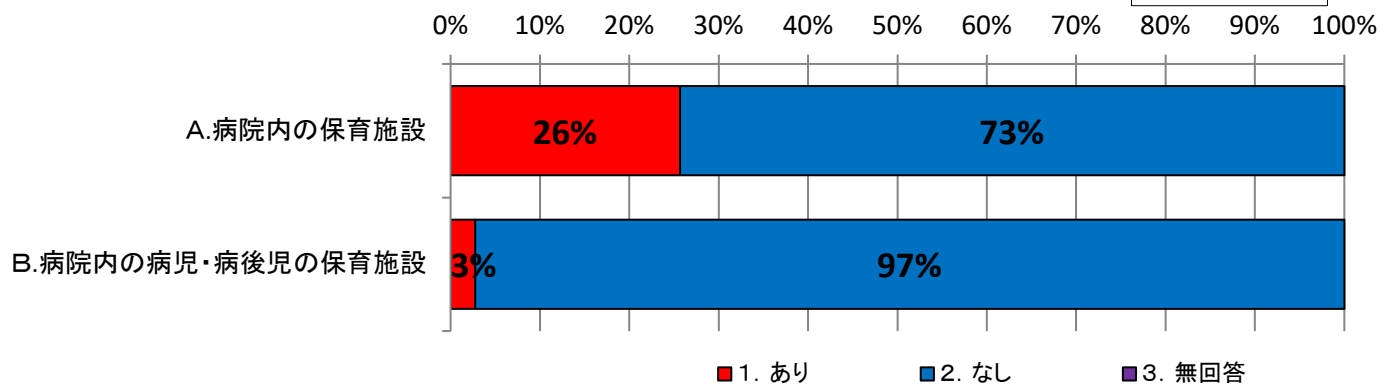
## 介護休業を取得した医師数

(n=109病院)



## 両立支援施設

(n=109病院)



## 「医師の働き方改革」の課題について(回答26病院)

- 【1】 医師の高齢化、医師確保困難・医師不足(最多11病院)  
休暇推奨・急変時対応ができる体制づくりが必要だが医師不足で実現困難
- 【2】 柔軟な勤務体制実現のための医師数増加＝人件費増加、特定の医師への業務しわ寄せ
- 【3】 若手医師が多く中堅医師の不足・負担増加(離島)

◎改革実施については以下のご意見あり

- 〈1〉看護休暇(有休休暇)・保育手当制度など両立に積極的に支援、周知徹底
- 〈2〉書類作成に生成AIを利用したツールを導入して業務を効率化
- 〈3〉短時間勤務や週4日勤務の検討、時間単位の有給休暇導入